



國貞画圖

仙果鈔録

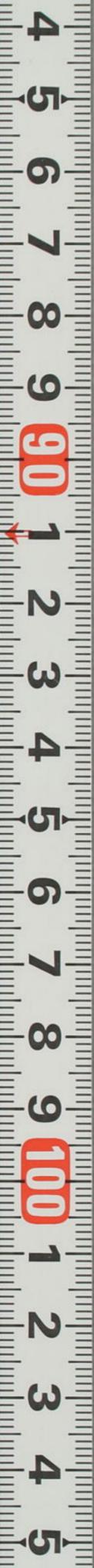
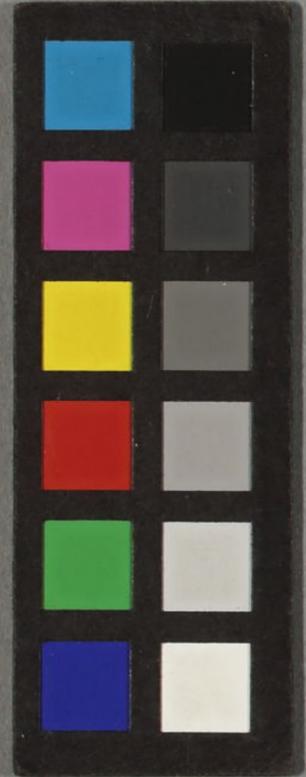
八犬傳大坪島

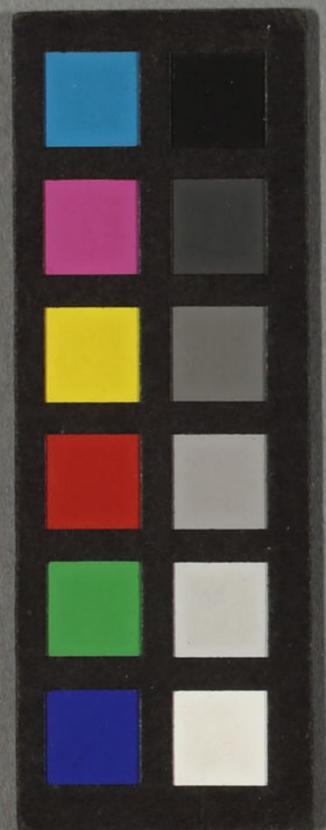
廿四編下

弁題

廿四編上

萬吉板









大山道節  
女弟濱路  
幽魂

曲多因包

同名の縁ふ靠て陰鬼  
陽介憑生前の情願を  
謝ふとの話の第廿五編の  
未ふあり  
大須賀篠見成孝  
里見義業息女  
濱路姫

狗廿四編附言又しても同ト線言かごと鈔録物程張合のるれ著作有るは  
 其ま々張合て書のも豊けた御代の餘澤具繪草紙繁昌のるるりし。如と  
 思心肝徹て辱し初も世界の曠けは原傳と看ぬ童穉達の鈔録と作との  
 差別もたどる此狗も仙果の作りと万思錯ぬる實ハ無実の濡衣られ濡手で  
 粟の濡中と口を濡す助とる其辱さら又抑戲作者も文人の端材先輩の編述と  
 拔書も作名記すの餘り小拙此の學者の真似りて耻と止ま今も猶竟見せらる  
 明友もはとど作のるる古書も折々讀みすれ學者の真似るるも出来ず若戲  
 作者も一々學者が庚申山の山猫とみあぐ一旦人間ふ文り愚人ふ尊故せらるるも  
 遂に尾を出し身とも段の物笑の種ある。唯猫の猫の境界を樂しお天ふ取り  
 蝶ふ戯も戲作者の戲作者の本意を失はぬ終聊化るるも晒の手拭小厚顔皮成  
 長夏の夜平の玉汗絞の浴衣を猫踊他の丹誠の膏とありて番敷書て問屋の催  
 仕請ぬまふと出情のせるふさこのふさこ

癸丑正月

笠守仙果



















一壽齋國貞画笠草仙果鈔録

本家實母散

此方実母さんく天中が  
 向き多く引くもの多き故に  
 一切の病を治す  
 南傳馬町二丁目東側一葉堂才輔製

中稿

御免 痲積湯

せんきののゆ系

御用薬所 信州 上田東山堂製

せんきののゆ系  
 せんきののゆ系  
 せんきののゆ系  
 せんきののゆ系

大日本國郡縣地全圖

大奉書 六枚綴

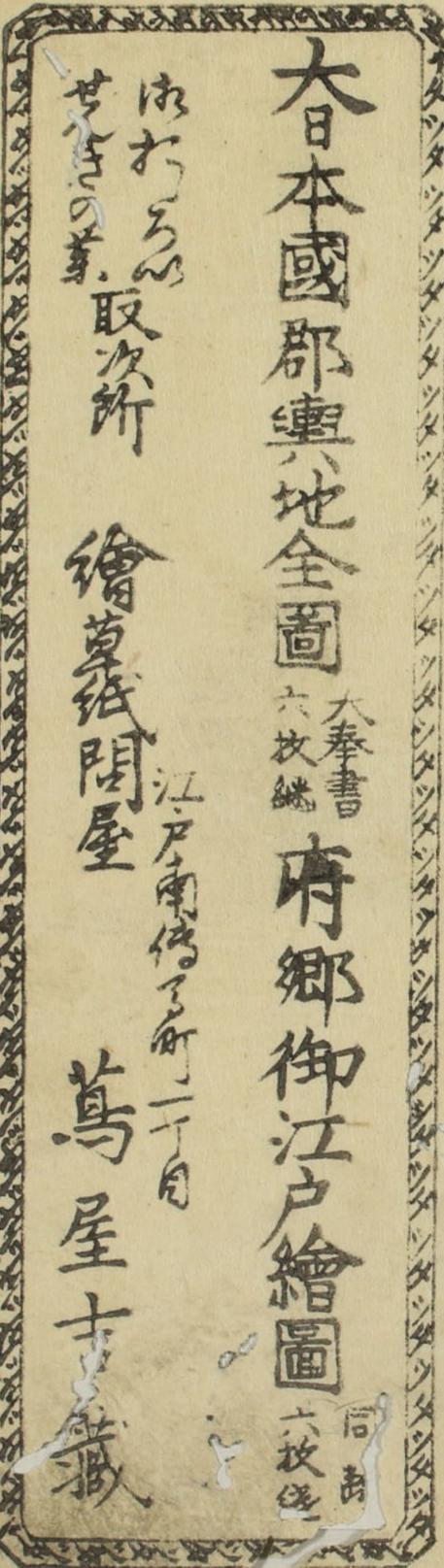
府郷御江戸繪圖

同前 六枚綴

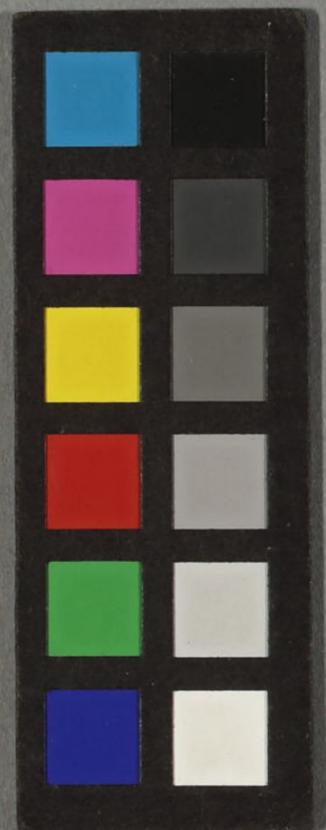
取次所

繪草紙問屋

萬屋才藏





















木の草紙廿四









大の草紙七四  
 角の  
 牙の  
 大の  
 草紙  
 七四  
 角の  
 牙の  
 大の  
 草紙  
 七四

大の  
 草紙  
 七四  
 角の  
 牙の  
 大の  
 草紙  
 七四



大の草紙七四  
 珠の  
 牙の  
 大の  
 草紙  
 七四  
 珠の  
 牙の  
 大の  
 草紙  
 七四

大の  
 草紙  
 七四  
 珠の  
 牙の  
 大の  
 草紙  
 七四

嘉永六癸丑新春新鐫目錄

大晦日曙草紙 十九編 京山作 七編 芳綱画

大傳太公紙 廿四編 仙果録 三編 豊国画 三編 國貞画

御贄美少年始 八編 一九録 九編 國綱画

俠客傳仙摸略記 八編 西馬譯 九編 國綱画 一編 國綱画

鳥巡浪間朝祭 五編 種長譯 六編 國綱画

文正 文今草紙合 九編 仙景作 十編 國綱画

連理翅 三編 西馬補 四編 芳綱画

松浦船水棹婦言 初 仙果録 三 國芳画

八重撫子果物語 初 仙果録 三 國貞画

花叢登梅雅物語 初 西馬譯 二 國綱画

春柳錦花皿 五編 一九録 大尾 芳綱画

錦繪 東都南傳馬町一丁目 問屋 葛屋吉藏板



Vertical columns of text on the right side of the illustration, likely providing commentary or descriptions related to the scene.

仙果録 國貞画 草書 海鳥

